

霧島市 子ども・子育て支援のためのニーズ調査
【クロス集計・自由意見報告書（抜粋版）】

令和6年6月

霧島市 保健福祉部 子育て支援課

I. クロス集計結果（抜粋）

クロス集計とは、

2つ以上の質問項目の回答内容をかけ合わせ、回答者属性ごとの反応の違いを見るようなときに用いる集計方法です。

集計したデータを細分化して把握できるため、あらゆる統計的調査で使用されます。

クロス集計表からは、例えば、以下のような客観的な事実を発見することができます。

- ・全体値を見ると、「非常に興味がある」が最も高く 44.8%、次いで「やや興味がある」が 32.6%
- ・性別で見ると、「非常に興味がある」と回答した人は男性のほうが女性よりも 10 ポイント以上高い。
- ・年代別で見ると、「非常に興味がある」と回答したのは 20 代が最も高く 57.2%

このように、クロス集計を利用すると全体の割合では見えてこなかった属性ごとの細かい違いが浮き彫りにすることを目的とします。

クロス集計は属性や回答で切り分けて分析を行うので、どうしてもカテゴリーごとの標本数が少なくなってしまう、統計的な偏りが生まれる可能性が高くなります。標本数が 30 未満になると参考値として扱うのが妥当となります。（本調査では地区別に注意が必要となります。）

また、本資料の作成にあたっては、クロス属性ごとに違いがみられた項目と市独自設問を中心に抜粋しました。

1 就学前児童保護者調査

問6 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。
(当てはまる番号1つに○)

◇母の就労形態別※にみると、「ひとり親」では「日常的に預かってもらえる方がいる」の割合が41.2%となり他の就労形態より高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	日常的に預かってもらえる方がいる	緊急時もしくは用事の際には、預かってもらえる方がいる	預かってもらえる方はいない	その他	無回答
全体(単純集計)		688	110 16.0%	445 64.7%	120 17.4%	8 1.2%	5 0.7%
子 の 区 分 別	0歳	61	16 26.2%	36 59.0%	8 13.1%	1 1.6%	0 0.0%
	1～2歳	165	27 16.4%	110 66.7%	23 13.9%	2 1.2%	3 1.8%
	3歳以上	451	67 14.9%	293 65.0%	84 18.6%	5 1.1%	2 0.4%
母 の 就 労 形 態 別	ひとり親	34	14 41.2%	17 50.0%	3 8.8%	0 0.0%	0 0.0%
	フルタイム	306	53 17.3%	203 66.3%	46 15.0%	4 1.3%	0 0.0%
	パート	200	20 10.0%	132 66.0%	42 21.0%	4 2.0%	2 1.0%
	専業主婦	129	19 14.7%	81 62.8%	27 20.9%	0 0.0%	2 1.6%
	その他	19	4 21.1%	12 63.2%	2 10.5%	0 0.0%	1 5.3%
地 区 別	国分地区	401	62 15.5%	258 64.3%	74 18.5%	6 1.5%	1 0.2%
	溝辺地区	35	6 17.1%	25 71.4%	4 11.4%	0 0.0%	0 0.0%
	横川地区	12	3 25.0%	5 41.7%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%
	牧園地区	16	4 25.0%	9 56.3%	2 12.5%	0 0.0%	1 6.3%
	霧島地区	13	4 30.8%	7 53.8%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%
	隼人地区	198	31 15.7%	130 65.7%	33 16.7%	1 0.5%	3 1.5%
	福山地区	9	0 0.0%	7 77.8%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%

※「母親の就労形態別」は、アンケート調査結果を活用し全国共通で「量の見込み」を算出するため、対象となる子どもの父母の有無、就労状況から分類した「家庭類型」に準ずるものとししました。

問6-2 あて名のお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。

(当てはまる番号すべてに○)

◇母親の就労形態別にみると、「ひとり親」では「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」割合は45.2%と最も高くなっています。また、「預かってもらう方の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」割合が他の就労形態より高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	預かってもらう方の身体的・精神的負担が大きいと心配である	預かってもらう方の時間的制約がある	預かってもらう方の精神的負担が大きいと心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとって不安がある	その他	無回答
全体(単純集計)		555	323 58.2%	116 20.9%	129 23.2%	159 28.6%	20 3.6%	9 1.6%	14 2.5%
子の年齢別 (3区分)	0歳	52	39 75.0%	6 11.5%	8 15.4%	10 19.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%
	1～2歳	137	84 61.3%	29 21.2%	29 21.2%	33 24.1%	3 2.2%	4 2.9%	1 0.7%
	3歳以上	360	195 54.2%	81 22.5%	92 25.6%	112 31.1%	16 4.4%	5 1.4%	11 3.1%
母の就労形態別	ひとり親	31	13 41.9%	6 19.4%	10 32.3%	14 45.2%	0 0.0%	1 3.2%	1 3.2%
	フルタイム	256	148 57.8%	55 21.5%	62 24.2%	70 27.3%	8 3.1%	4 1.6%	7 2.7%
	パート	152	90 59.2%	32 21.1%	38 25.0%	49 32.2%	8 5.3%	4 2.6%	3 2.0%
	専業主婦	100	65 65.0%	18 18.0%	16 16.0%	22 22.0%	2 2.0%	0 0.0%	2 2.0%
	その他	16	7 43.8%	5 31.3%	3 18.8%	4 25.0%	2 12.5%	0 0.0%	1 6.3%
地区別	国分地区	320	188 58.8%	61 19.1%	77 24.1%	99 30.9%	14 4.4%	4 1.3%	7 2.2%
	溝辺地区	31	22 71.0%	7 22.6%	7 22.6%	5 16.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%
	横川地区	8	4 50.0%	2 25.0%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%
	牧園地区	13	4 30.8%	6 46.2%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%
	霧島地区	11	5 45.5%	2 18.2%	3 27.3%	3 27.3%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%
	隼人地区	161	95 59.0%	34 21.1%	32 19.9%	49 30.4%	5 3.1%	1 0.6%	5 3.1%
	福山地区	7	3 42.9%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問7-1 気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（当てはまる番号すべてに○）

◇子の年齢別にみると、「祖父母等の親族」、「友人や知人」割合は年齢が上がるにつれ低下しています。一方、「保育士・幼稚園教諭」の割合は年齢が上がるにつれ上昇しています。

◇「育児書やインターネットで調べる」と回答した割合が、年齢別にみると「0歳」が、母の就労形態別にみると「専業主婦」が、地区別にみると「霧島地区」がそれぞれ他の項目より高くなっています。

（上段：人 下段：％）

		標本数（人）	祖父母等の親族	友人や知人	近所の方	子育て支援施設（こどもセンター等）・NPO	保健センター・保健所	保育士・幼稚園教諭（保育園・認定こども園等）	幼稚園教諭（幼稚園）	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連窓口	育児書やインターネットで調べる	その他	無回答
全体（単純集計）		643	558 86.8%	427 66.4%	40 6.2%	74 11.5%	54 8.4%	216 33.6%	63 9.8%	1 0.2%	67 10.4%	9 1.4%	114 17.7%	22 3.4%	1 0.2%
子の年齢別 （3区分分）	0歳	56	52 92.9%	40 71.4%	1 1.8%	4 7.1%	9 16.1%	8 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 10.7%	1 1.8%	14 25.0%	3 5.4%	0 0.0%
	1～2歳	159	142 89.3%	102 64.2%	5 3.1%	25 15.7%	14 8.8%	55 34.6%	2 1.3%	1 0.6%	12 7.5%	4 2.5%	31 19.5%	3 1.9%	1 0.6%
	3歳以上	418	357 85.4%	277 66.3%	33 7.9%	44 10.5%	30 7.2%	151 36.1%	58 13.9%	0 0.0%	48 11.5%	4 1.0%	69 16.5%	16 3.8%	0 0.0%
母の就労形態別	ひとり親	31	29 93.5%	18 58.1%	1 3.2%	0 0.0%	2 6.5%	6 19.4%	1 3.2%	0 0.0%	1 3.2%	0 0.0%	4 12.9%	1 3.2%	0 0.0%
	フルタイム	286	250 87.4%	192 67.1%	17 5.9%	24 8.4%	17 5.9%	120 42.0%	10 3.5%	0 0.0%	30 10.5%	3 1.0%	49 17.1%	6 2.1%	0 0.0%
	パート	189	161 85.2%	128 67.7%	10 5.3%	24 12.7%	16 8.5%	72 38.1%	26 13.8%	0 0.0%	22 11.6%	4 2.1%	32 16.9%	11 5.8%	0 0.0%
	専業主婦	120	103 85.8%	76 63.3%	9 7.5%	24 20.0%	17 14.2%	13 10.8%	24 20.0%	1 0.8%	12 10.0%	1 0.8%	27 22.5%	3 2.5%	1 0.8%
	その他	17	15 88.2%	13 76.5%	3 17.6%	2 11.8%	2 11.8%	5 29.4%	2 11.8%	0 0.0%	2 11.8%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%
地区別	国分地区	368	319 86.7%	236 64.1%	16 4.3%	38 10.3%	35 9.5%	112 30.4%	42 11.4%	0 0.0%	37 10.1%	7 1.9%	59 16.0%	10 2.7%	1 0.3%
	溝辺地区	35	30 85.7%	20 57.1%	2 5.7%	7 20.0%	4 11.4%	15 42.9%	1 2.9%	0 0.0%	2 5.7%	0 0.0%	5 14.3%	1 2.9%	0 0.0%
	横川地区	11	11 100.0%	10 90.9%	5 45.5%	3 27.3%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%
	牧園地区	14	12 85.7%	12 85.7%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%	5 35.7%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%
	霧島地区	12	9 75.0%	7 58.3%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	0 0.0%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%
	隼人地区	191	166 86.9%	134 70.2%	15 7.9%	21 11.0%	14 7.3%	69 36.1%	18 9.4%	1 0.5%	20 10.5%	2 1.0%	40 20.9%	9 4.7%	0 0.0%
	福山地区	8	7 87.5%	5 62.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（父親、母親それぞれについて、当てはまる番号の1つに○）

- ◇子の年齢別にみると、0歳では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」の割合が57.4%最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が26.2%となっています。
- ◇また、1～2歳になると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が最も高くなっており、3歳以上ではその割合がさらに高くなっています。
- ◇3歳以上になると「以前は就労していたが、現在は就労していない」16.8%となり、1～2歳の27.3%から10.5ポイント低くなっています。

【母親】

(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労している	パート・アルバイト等で就労している	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体(単純集計)	684	225 32.9%	102 14.9%	183 26.8%	24 3.5%	137 20.0%	5 0.7%	8 1.2%
(3区年齢別)	0歳	5 8.2%	35 57.4%	1 1.6%	4 6.6%	16 26.2%	0 0.0%	0 0.0%
	1～2歳	46 27.9%	31 18.8%	37 22.4%	4 2.4%	45 27.3%	0 0.0%	2 1.2%
	3歳以上	170 38.0%	35 7.8%	140 31.3%	16 3.6%	75 16.8%	5 1.1%	6 1.3%
母の就労形態別	ひとり親	16 53.3%	0 0.0%	6 20.0%	0 0.0%	7 23.3%	0 0.0%	1 3.3%
	フルタイム	205 67.0%	101 33.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	パート	0 0.0%	0 0.0%	176 88.0%	24 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	専業主婦	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	126 97.7%	3 2.3%	0 0.0%
	その他	4 21.1%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	4 21.1%	2 10.5%	7 36.8%
地区別	国分地区	129 32.4%	54 13.6%	101 25.4%	12 3.0%	95 23.9%	2 0.5%	5 1.3%
	溝辺地区	12 34.3%	7 20.0%	14 40.0%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%
	横川地区	5 41.7%	0 0.0%	5 41.7%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	牧園地区	7 43.8%	2 12.5%	6 37.5%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
	霧島地区	3 23.1%	1 7.7%	6 46.2%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%
	隼人地区	67 34.0%	35 17.8%	46 23.4%	11 5.6%	33 16.8%	3 1.5%	2 1.0%
	福山地区	2 22.2%	2 22.2%	4 44.4%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%

問9で「5」または「6」(現在就労していない)と回答された方のみ

問10 就労したいという希望はありますか。(当てはまる番号1つに○)

◇母親の就労形態別にみると、専業主婦では、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃に就労したい」が41.1%と最も高く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に、パートタイム、アルバイト等で就労したい」が37.2%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が15.5%となっています。

【母親】

■就労の希望

(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	就労希望					無回答
		(子育てや家事などに専念したい)	1年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃に就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内にパートタイム、もしくは1年以内で就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等で就労したい	無回答	
全体(単純集計)	142	25 17.6%	54 38.0%	9 6.3%	49 34.5%	5 3.5%	
(3区分年齢別)	0歳	16 0.0%	10 62.5%	3 18.8%	3 18.8%	0 0.0%	
	1~2歳	45 17.8%	18 40.0%	1 2.2%	17 37.8%	1 2.2%	
	3歳以上	80 20.0%	26 32.5%	5 6.3%	29 36.3%	4 5.0%	
母の就労形態別	ひとり親	7 28.6%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	1 14.3%	
	フルタイム	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	
	パート	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	
	専業主婦	129 15.5%	53 41.1%	4 3.1%	48 37.2%	4 3.1%	
	その他	6 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	
地区別	国分地区	97 18.6%	35 36.1%	5 5.2%	35 36.1%	4 4.1%	
	溝辺地区	1 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	横川地区	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	
	牧園地区	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
	霧島地区	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	
	隼人地区	36 16.7%	18 50.0%	2 5.6%	9 25.0%	1 2.8%	
	福山地区	1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	

■1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃に就労したい

(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	就労希望			無回答
		3歳未満	3歳~5歳	6歳以上	
全体(単純集計)	54	16 29.6%	27 50.0%	10 18.5%	1 1.9%
(3区分年齢別)	0歳	10 60.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
	1~2歳	18 22.2%	13 72.2%	1 5.6%	0 0.0%
	3歳以上	26 23.1%	10 38.5%	9 34.6%	1 3.8%
母の就労形態別	ひとり親	0 -	0 -	0 -	0 -
	フルタイム	0 -	0 -	0 -	0 -
	パート	0 -	0 -	0 -	0 -
	専業主婦	53 30.2%	26 49.1%	10 18.9%	1 1.9%
	その他	1 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
地区別	国分地区	35 34.3%	17 48.6%	6 17.1%	0 0.0%
	溝辺地区	1 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	横川地区	0 -	0 -	0 -	0 -
	牧園地区	0 -	0 -	0 -	0 -
	霧島地区	0 -	0 -	0 -	0 -
	隼人地区	18 22.2%	10 55.6%	3 16.7%	1 5.6%
	福山地区	0 -	0 -	0 -	0 -

問 11 あて名のお子さんは、現在、幼稚園や保育園など上の表に記載された「教育・保育の事業」を「定期的」に利用していますか。(当てはまる番号1つに○)

◇子の年齢別にみると、0歳では、「利用する必要がない」の割合が60.7%と最も高くなっています。

◇また、「利用している」の割合は、1～2歳が66.7%、3歳以上が94.5%となっています。

◇「利用したいが利用できない」の割合は、子の年齢別では0歳が24.6%、母の就労形態別では「専業主婦」が14.0%となっています。

■利用状況

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	利用している	利用したいが利用できない	利用する必要がない	無回答
全体(単純集計)		688	553 80.4%	34 4.9%	95 13.8%	6 0.9%
(子の年齢別)	0歳	61	9 14.8%	15 24.6%	37 60.7%	0 0.0%
	1～2歳	165	110 66.7%	15 9.1%	35 21.2%	5 3.0%
	3歳以上	451	426 94.5%	4 0.9%	20 4.4%	1 0.2%
母の就労形態別	ひとり親	34	32 94.1%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%
	フルタイム	306	251 82.0%	12 3.9%	42 13.7%	1 0.3%
	パート	200	185 92.5%	3 1.5%	10 5.0%	2 1.0%
	専業主婦	129	70 54.3%	18 14.0%	38 29.5%	3 2.3%
	その他	19	15 78.9%	0 0.0%	4 21.1%	0 0.0%
地区別	国分地区	401	315 78.6%	23 5.7%	57 14.2%	6 1.5%
	溝辺地区	35	29 82.9%	1 2.9%	5 14.3%	0 0.0%
	横川地区	12	9 75.0%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%
	牧園地区	16	14 87.5%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%
	霧島地区	13	12 92.3%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%
	隼人地区	198	164 82.8%	7 3.5%	27 13.6%	0 0.0%
	福山地区	9	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%

■利用している場所

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	霧島市内	他の市町村	無回答
全体(単純集計)		553	527 95.3%	10 1.8%	16 2.9%
(子の年齢別)	0歳	9	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	1～2歳	110	105 95.5%	3 2.7%	2 1.8%
	3歳以上	426	405 95.1%	7 1.6%	14 3.3%
母の就労形態別	ひとり親	32	31 96.9%	1 3.1%	0 0.0%
	フルタイム	251	243 96.8%	5 2.0%	3 1.2%
	パート	185	173 93.5%	4 2.2%	8 4.3%
	専業主婦	70	68 97.1%	0 0.0%	2 2.9%
	その他	15	12 80.0%	0 0.0%	3 20.0%
地区別	国分地区	315	303 96.2%	3 1.0%	9 2.9%
	溝辺地区	29	26 89.7%	2 6.9%	1 3.4%
	横川地区	9	7 77.8%	1 11.1%	1 11.1%
	牧園地区	14	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	霧島地区	12	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	隼人地区	164	157 95.7%	2 1.2%	5 3.0%
	福山地区	8	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%

問 12-1 お子さんが病気やケガの際に、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号のいずれかに○をつけ、矢印の質問にもお答えください。

◇子の年齢別にみると、0歳及び1～2歳では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が6割を超え最も高い一方、3歳以上では「利用したいとは思わない」が約6割と最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全体(単純集計)		457	188 41.1%	258 56.5%	11 2.4%
子の年齢別 (3区分分)	0歳	6	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%
	1～2歳	91	59 64.8%	29 31.9%	3 3.3%
	3歳以上	353	124 35.1%	222 62.9%	7 2.0%
母の就労形態別	ひとり親	27	12 44.4%	13 48.1%	2 7.4%
	フルタイム	216	103 47.7%	110 50.9%	3 1.4%
	パート	155	62 40.0%	89 57.4%	4 2.6%
	専業主婦	51	8 15.7%	41 80.4%	2 3.9%
	その他	8	3 37.5%	5 62.5%	0 0.0%
地区別	国分地区	259	98 37.8%	154 59.5%	7 2.7%
	溝辺地区	25	13 52.0%	12 48.0%	0 0.0%
	横川地区	6	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%
	牧園地区	10	5 50.0%	5 50.0%	0 0.0%
	霧島地区	11	4 36.4%	7 63.6%	0 0.0%
	隼人地区	138	63 45.7%	71 51.4%	4 2.9%
	福山地区	6	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%

問 20 あて名のお子さんが小学校に就学された際、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

低学年時（1～3年生）と高学年時（4～6年生）に分けて、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でお書きください。

【低学年時（1年生～3年生）】

◇母親の就労形態別にみると、専業主婦以外では「放課後児童クラブ」の割合が最も高くなっており、特にフルタイムでは約8割となっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	放課後児童クラブ	ファミリー・サポーターやキッズパーク・セシマ	公共施設、公園など	その他	無回答
全体(単純集計)		451	201 44.6%	69 15.3%	141 31.3%	283 62.7%	6 1.3%	37 8.2%	8 1.8%	18 4.0%
子の年齢別 (3区分)	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1～2歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3歳以上	451	201 44.6%	69 15.3%	141 31.3%	283 62.7%	6 1.3%	37 8.2%	8 1.8%	18 4.0%
母の就労形態別	ひとり親	32	14 43.8%	8 25.0%	9 28.1%	19 59.4%	0 0.0%	1 3.1%	2 6.3%	2 6.3%
	フルタイム	185	52 28.1%	27 14.6%	40 21.6%	145 78.4%	4 2.2%	7 3.8%	2 1.1%	8 4.3%
	パート	149	65 43.6%	17 11.4%	53 35.6%	92 61.7%	1 0.7%	14 9.4%	1 0.7%	6 4.0%
	専業主婦	70	62 88.6%	15 21.4%	37 52.9%	19 27.1%	1 1.4%	13 18.6%	3 4.3%	1 1.4%
	その他	15	8 53.3%	2 13.3%	2 13.3%	8 53.3%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%
地区別	国分地区	258	115 44.6%	35 13.6%	85 32.9%	164 63.6%	4 1.6%	24 9.3%	5 1.9%	10 3.9%
	溝辺地区	25	10 40.0%	4 16.0%	5 20.0%	17 68.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	2 8.0%
	横川地区	8	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	牧園地区	14	7 50.0%	1 7.1%	1 7.1%	8 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%
	霧島地区	8	5 62.5%	2 25.0%	1 12.5%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
	隼人地区	133	60 45.1%	26 19.5%	48 36.1%	82 61.7%	1 0.8%	12 9.0%	2 1.5%	4 3.0%
	福山地区	3	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【高学年時（4～6年生）】

◇母親の就労形態別にみると、全ての就労形態で「自宅」の割合が最も高くなっています。

◇また、「放課後児童クラブ」の割合はフルタイムで 44.3%、パートで 31.5%となっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	放課後児童クラブ	ファミリー・サポート・センター	公共施設、公園など	その他	無回答
全体(単純集計)		451	275 61.0%	73 16.2%	170 37.7%	163 36.1%	7 1.6%	58 12.9%	3 0.7%	66 14.6%
子の年齢別 (3区分)	0歳	0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	1～2歳	0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	3歳以上	451	275 61.0%	73 16.2%	170 37.7%	163 36.1%	7 1.6%	58 12.9%	3 0.7%	66 14.6%
母の就労形態別	ひとり親	32	16 50.0%	9 28.1%	9 28.1%	13 40.6%	0 0.0%	3 9.4%	1 3.1%	7 21.9%
	フルタイム	185	97 52.4%	26 14.1%	67 36.2%	82 44.3%	4 2.2%	15 8.1%	1 0.5%	27 14.6%
	パート	149	99 66.4%	21 14.1%	56 37.6%	47 31.5%	2 1.3%	17 11.4%	1 0.7%	21 14.1%
	専業主婦	70	55 78.6%	14 20.0%	36 51.4%	15 21.4%	1 1.4%	21 30.0%	0 0.0%	8 11.4%
	その他	15	8 53.3%	3 20.0%	2 13.3%	6 40.0%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	3 20.0%
地区別	国分地区	258	147 57.0%	37 14.3%	99 38.4%	102 39.5%	4 1.6%	30 11.6%	2 0.8%	39 15.1%
	溝辺地区	25	18 72.0%	6 24.0%	9 36.0%	8 32.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	2 8.0%
	横川地区	8	6 75.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	牧園地区	14	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%	8 57.1%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	4 28.6%
	霧島地区	8	6 75.0%	2 25.0%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
	隼人地区	133	91 68.4%	26 19.5%	56 42.1%	40 30.1%	1 0.8%	25 18.8%	0 0.0%	19 14.3%
	福山地区	3	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 21 あて名のお子さんが生まれた時、父親・母親のいずれか、又は両方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、当てはまる番号の1つに○をつけてください。

◇母親の就労形態別にみると、「取得した（取得中である）」の割合は、フルタイムで 76.8%、パートで 39.5%となっています。

◇また、ひとり親の「取得していない」割合は 23.5%となり、ほかの就労形態より高くなっています。

<取得の有無>

【父親】

(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	働いていなかった	取得した(取得中である)	取得していない	無回答	
全体(単純集計)	688	5 0.7%	76 11.0%	563 81.8%	44 6.4%	
(子の年齢別)	0歳	61	0 0.0%	17 27.9%	42 68.9%	2 3.3%
	1~2歳	165	0 0.0%	35 21.2%	124 75.2%	6 3.6%
	3歳以上	451	5 1.1%	24 5.3%	388 86.0%	34 7.5%
母の就労形態別	ひとり親	34	1 2.9%	1 2.9%	18 52.9%	14 41.2%
	フルタイム	306	0 0.0%	29 9.5%	264 86.3%	13 4.2%
	パート	200	1 0.5%	24 12.0%	167 83.5%	8 4.0%
	専業主婦	129	2 1.6%	19 14.7%	103 79.8%	5 3.9%
	その他	19	1 5.3%	3 15.8%	11 57.9%	4 21.1%
地区別	国分地区	401	5 1.2%	45 11.2%	326 81.3%	25 6.2%
	溝辺地区	35	0 0.0%	2 5.7%	31 88.6%	2 5.7%
	横川地区	12	0 0.0%	2 16.7%	8 66.7%	2 16.7%
	牧園地区	16	0 0.0%	2 12.5%	12 75.0%	2 12.5%
	霧島地区	13	0 0.0%	4 30.8%	9 69.2%	0 0.0%
	隼人地区	198	0 0.0%	20 10.1%	166 83.8%	12 6.1%
	福山地区	9	0 0.0%	0 0.0%	8 88.9%	1 11.1%

【母親】

(上段：人 下段：%)

	標本数(人)	働いていなかった	取得した(取得中である)	取得していない	無回答	
全体(単純集計)	688	241 35.0%	350 50.9%	78 11.3%	19 2.8%	
(子の年齢別)	0歳	61	13 21.3%	43 70.5%	5 8.2%	0 0.0%
	1~2歳	165	55 33.3%	93 56.4%	10 6.1%	7 4.2%
	3歳以上	451	166 36.8%	211 46.8%	62 13.7%	12 2.7%
母の就労形態別	ひとり親	34	10 29.4%	15 44.1%	8 23.5%	1 2.9%
	フルタイム	306	35 11.4%	235 76.8%	32 10.5%	4 1.3%
	パート	200	84 42.0%	79 39.5%	29 14.5%	8 4.0%
	専業主婦	129	102 79.1%	15 11.6%	8 6.2%	4 3.1%
	その他	19	10 52.6%	6 31.6%	1 5.3%	2 10.5%
地区別	国分地区	401	141 35.2%	211 52.6%	37 9.2%	12 3.0%
	溝辺地区	35	9 25.7%	17 48.6%	8 22.9%	1 2.9%
	横川地区	12	6 50.0%	2 16.7%	3 25.0%	1 8.3%
	牧園地区	16	7 43.8%	5 31.3%	4 25.0%	0 0.0%
	霧島地区	13	5 38.5%	6 46.2%	2 15.4%	0 0.0%
	隼人地区	198	69 34.8%	102 51.5%	22 11.1%	5 2.5%
	福山地区	9	1 11.1%	6 66.7%	2 22.2%	0 0.0%

問 23 霧島市（お住まいの地域）が子育てしやすい環境だと思いますか、当てはまる番号に1つ○をつけてください。

◇母の就労形態別にみると、フルタイムの「どちらかといえばそう思う」割合がほかの就労形態より高くなっています。

◇地区別にみると、「霧島地区」では、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 46.2%と最も高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	全くそう思わない	わからない	無回答
全体 (単純集計)		688	94 13.7%	359 52.2%	127 18.5%	52 7.6%	45 6.5%	11 1.6%
子の 3 区分 年齢別	0歳	61	8 13.1%	31 50.8%	11 18.0%	6 9.8%	5 8.2%	0 0.0%
	1～2歳	165	19 11.5%	89 53.9%	32 19.4%	9 5.5%	14 8.5%	2 1.2%
	3歳以上	451	64 14.2%	234 51.9%	83 18.4%	35 7.8%	26 5.8%	9 2.0%
母の 就労 形態別	ひとり親	34	7 20.6%	10 29.4%	9 26.5%	3 8.8%	4 11.8%	1 2.9%
	フルタイム	306	39 12.7%	180 58.8%	50 16.3%	16 5.2%	17 5.6%	4 1.3%
	パート	200	28 14.0%	97 48.5%	41 20.5%	22 11.0%	11 5.5%	1 0.5%
	専業主婦	129	17 13.2%	63 48.8%	26 20.2%	9 7.0%	10 7.8%	4 3.1%
	その他	19	3 15.8%	9 47.4%	1 5.3%	2 10.5%	3 15.8%	1 5.3%
地区別	国分地区	401	54 13.5%	217 54.1%	62 15.5%	35 8.7%	27 6.7%	6 1.5%
	溝辺地区	35	3 8.6%	17 48.6%	9 25.7%	1 2.9%	5 14.3%	0 0.0%
	横川地区	12	3 25.0%	4 33.3%	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	牧園地区	16	3 18.8%	7 43.8%	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%	0 0.0%
	霧島地区	13	1 7.7%	5 38.5%	6 46.2%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%
	隼人地区	198	29 14.6%	102 51.5%	43 21.7%	8 4.0%	11 5.6%	5 2.5%
	福山地区	9	0 0.0%	6 66.7%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%

問 24 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

◇子の年齢別にみると、0歳（80.3%）及び1～2歳（62.4%）では「インターネット」の割合が最も高くなっています。

◇また、3歳以上では「幼稚園・保育園等」が69.6%と最も高くなっています。

◇0歳では、「子育て雑誌・育児書」もほかの年齢区分より高くなっています。

◇母の就労形態別にみると、専業主婦では、ほかの就労形態より「幼稚園・保育所等」が低く、「インターネット」が高くなっています。

（上段：人 下段：%）

	標本数（人）	親族（親、きょうだいなど）	隣近所の方、知人、友人	幼稚園・保育園等	市役所や市の機関	市の子育てガイドブック	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌・育児書	インターネット	コミュニティー誌	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	無回答	
全体（単純集計）	688	407 59.2%	403 58.6%	415 60.3%	107 15.6%	139 20.2%	97 14.1%	85 12.4%	417 60.6%	21 3.1%	23 3.3%	10 1.5%	15 2.2%	7 1.0%	
子の年齢別 （3区分）	0歳	61	41 67.2%	33 54.1%	10 16.4%	11 18.0%	14 23.0%	3 4.9%	13 21.3%	49 80.3%	1 1.6%	5 8.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%
	1～2歳	165	101 61.2%	90 54.5%	82 49.7%	31 18.8%	33 20.0%	24 14.5%	19 11.5%	103 62.4%	5 3.0%	7 4.2%	3 1.8%	7 4.2%	1 0.6%
	3歳以上	451	262 58.1%	270 59.9%	314 69.6%	65 14.4%	90 20.0%	69 15.3%	53 11.8%	262 58.1%	15 3.3%	11 2.4%	7 1.6%	8 1.8%	5 1.1%
母の就労形態別	ひとり親	34	21 61.8%	9 26.5%	21 61.8%	8 23.5%	6 17.6%	6 17.6%	5 14.7%	18 52.9%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	フルタイム	306	176 57.5%	176 57.5%	190 62.1%	43 14.1%	60 19.6%	39 12.7%	45 14.7%	183 59.8%	7 2.3%	8 2.6%	2 0.7%	5 1.6%	3 1.0%
	パート	200	119 59.5%	127 63.5%	139 69.5%	32 16.0%	37 18.5%	31 15.5%	19 9.5%	116 58.0%	5 2.5%	6 3.0%	4 2.0%	2 1.0%	1 0.5%
	専業主婦	129	80 62.0%	80 62.0%	56 43.4%	19 14.7%	29 22.5%	16 12.4%	15 11.6%	90 69.8%	6 4.7%	7 5.4%	2 1.6%	6 4.7%	2 1.6%
	その他	19	11 57.9%	11 57.9%	9 47.4%	5 26.3%	7 36.8%	5 26.3%	1 5.3%	10 52.6%	2 10.5%	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%	1 5.3%
地区別	国分地区	401	230 57.4%	219 54.6%	233 58.1%	56 14.0%	72 18.0%	51 12.7%	47 11.7%	240 59.9%	9 2.2%	14 3.5%	6 1.5%	12 3.0%	6 1.5%
	溝辺地区	35	22 62.9%	22 62.9%	23 65.7%	8 22.9%	8 22.9%	8 22.9%	2 5.7%	16 45.7%	2 5.7%	1 2.9%	2 5.7%	0 0.0%	0 0.0%
	横川地区	12	7 58.3%	8 66.7%	7 58.3%	3 25.0%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	牧園地区	16	12 75.0%	9 56.3%	11 68.8%	2 12.5%	1 6.3%	4 25.0%	2 12.5%	10 62.5%	0 0.0%	2 12.5%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
	霧島地区	13	7 53.8%	6 46.2%	9 69.2%	3 23.1%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	6 46.2%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	隼人地区	198	121 61.1%	131 66.2%	123 62.1%	33 16.7%	54 27.3%	31 15.7%	31 15.7%	129 65.2%	9 4.5%	6 3.0%	1 0.5%	3 1.5%	1 0.5%
	福山地区	9	7 77.8%	5 55.6%	7 77.8%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	6 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

2 小学校就学児童保護者調査

問 21 行政（市、県、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。（当てはまる番号すべてに○）

◇母の就労形態別にみると、ひとり親では「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）」の割合が71.2%と最も高くなっています。

（上段：人 下段：%）

	標本数（人）	親子が安心して遊べる公園等の屋外の施設を整備する	親子が安心して遊べる幼稚園や保育園等の園庭開放を充実する	親子が安心して遊べる（集いの場等を含む）屋内の施設を整備する	子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む	子育てに困ったときの相談体制を充実する	子育てに関する情報提供を充実する	子育て中の親の仲間づくりや、子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数増加と内容の充実を図る	子育てサークル活動への支援を充実する	保育園や放課後児童クラブ等の働きながら子どもを預ける施設を増やす	幼稚園の保育事業（早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など）を充実する	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPOや民営等による教育・保育サービスの支援を行う	訪問型家事支援サービスに取り組む	安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する	子どもの安全を確保する対策を充実する	子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる	子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）	子どもの貧困対策（子ども食堂等への支援の充実）	公営住宅の優先入居等、住宅面での配慮や支援に取り組む	その他	特になし	無回答		
全体（単純集計）	667	399 59.8%	100 15.0%	342 51.3%	205 30.7%	223 33.4%	227 34.0%	114 17.1%	70 10.5%	243 36.4%	186 27.9%	124 18.6%	70 10.5%	402 60.3%	204 30.6%	82 12.3%	384 57.6%	165 24.7%	112 16.8%	29 4.3%	24 3.6%	6 0.9%		
子の学年別	1年生	37	25 67.6%	5 13.5%	22 59.5%	13 35.1%	12 32.4%	14 37.8%	6 16.2%	4 10.8%	17 45.9%	9 24.3%	1 2.7%	1 2.7%	26 70.3%	12 32.4%	4 10.8%	25 67.6%	12 32.4%	9 24.3%	3 8.1%	0 0.0%	0 0.0%	
	2年生	55	36 65.5%	6 10.9%	35 63.6%	15 27.3%	14 25.5%	7 12.7%	5 9.1%	22 40.0%	16 29.1%	10 18.2%	9 16.4%	3 5.5%	37 67.3%	23 41.8%	4 7.3%	31 56.4%	16 29.1%	7 12.7%	4 7.3%	2 3.6%	0 0.0%	
	3年生	91	60 65.9%	9 9.9%	43 47.3%	29 31.9%	27 29.7%	28 30.6%	12 13.2%	9 9.9%	33 36.3%	22 24.2%	17 18.7%	8 8.8%	8 8.8%	57 62.6%	30 33.0%	11 12.1%	51 56.0%	23 25.3%	12 13.2%	1 1.1%	4 4.4%	1 1.1%
	4年生	108	65 60.2%	19 17.6%	53 49.1%	35 32.4%	37 34.3%	45 41.7%	18 16.7%	14 13.0%	40 37.0%	33 30.6%	24 22.2%	13 12.0%	13 59.3%	64 32.4%	35 11.1%	12 63.0%	21 19.4%	17 15.7%	5 4.6%	4 3.7%	0 0.0%	
	5年生	169	104 61.5%	27 16.0%	88 52.1%	50 29.6%	57 33.7%	58 34.3%	31 18.3%	16 9.5%	61 36.1%	43 25.4%	22 13.0%	12 7.7%	104 61.5%	49 29.0%	22 13.0%	98 58.0%	43 25.4%	31 18.3%	6 3.6%	6 3.6%	2 1.2%	
	6年生	181	91 50.3%	27 14.9%	84 46.4%	55 30.4%	69 38.1%	62 34.3%	32 17.7%	19 10.5%	59 32.6%	51 28.2%	35 19.3%	23 12.7%	98 54.1%	48 26.5%	27 14.9%	98 54.1%	42 23.2%	32 17.7%	10 5.5%	8 4.4%	3 1.7%	
母の就労形態別	ひとり親	52	32 61.5%	4 7.7%	23 44.2%	16 30.8%	16 30.8%	23 44.2%	10 19.2%	4 7.7%	21 40.4%	14 26.9%	10 19.2%	4 7.7%	30 57.7%	17 32.7%	7 13.5%	37 71.2%	24 46.2%	18 34.6%	3 5.8%	1 1.9%	1 1.9%	
	フルタイム	270	152 56.3%	39 14.4%	127 47.0%	87 32.2%	89 33.0%	92 34.1%	44 16.3%	31 11.5%	111 41.1%	83 30.7%	34 12.6%	34 12.6%	174 64.4%	82 30.4%	33 12.2%	150 55.6%	70 25.9%	41 15.2%	14 5.2%	11 4.1%	2 0.7%	
	パート	240	147 61.3%	46 19.2%	139 57.9%	73 30.4%	90 37.5%	81 33.8%	44 18.3%	25 10.4%	83 34.6%	69 28.8%	48 20.0%	22 9.2%	138 57.5%	72 30.0%	29 12.1%	136 56.7%	51 21.3%	37 15.4%	5 2.1%	8 3.3%	2 0.8%	
	専業主婦	92	59 64.1%	11 12.0%	49 53.3%	27 29.3%	29 31.5%	15 16.3%	10 10.9%	24 26.1%	20 21.7%	35 38.0%	10 10.9%	56 60.9%	29 31.5%	12 13.0%	53 57.6%	17 18.5%	12 13.0%	6 6.5%	4 4.3%	0 0.0%		
	その他	13	9 69.2%	0 0.0%	4 30.8%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	4 30.8%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	4 30.8%	4 30.8%	1 7.7%	8 61.5%	3 23.1%	4 30.8%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	
地区別	国分地区	377	228 60.5%	59 15.6%	200 53.1%	128 34.0%	131 34.7%	133 35.3%	68 18.0%	45 11.9%	142 37.7%	109 28.9%	77 20.4%	41 10.9%	230 61.0%	115 30.5%	50 13.3%	210 55.7%	100 26.5%	57 15.1%	17 4.5%	6 1.6%	1 0.3%	
	溝辺地区	41	24 58.5%	5 12.2%	20 48.8%	12 29.3%	13 31.7%	8 19.5%	1 2.4%	14 34.1%	11 26.8%	7 17.1%	2 4.9%	2 4.9%	20 48.8%	11 26.8%	7 17.1%	24 58.5%	8 19.5%	5 12.2%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%	
	横川地区	12	5 41.7%	2 16.7%	3 25.0%	3 25.0%	2 16.7%	3 25.0%	2 16.7%	2 16.7%	3 25.0%	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%	5 41.7%	4 33.3%	2 16.7%	9 75.0%	3 25.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	牧園地区	20	13 65.0%	3 15.0%	9 45.0%	4 20.0%	3 15.0%	2 10.0%	2 10.0%	0 0.0%	7 35.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 70.0%	5 25.0%	1 5.0%	11 55.0%	3 15.0%	4 20.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	
	霧島地区	15	11 73.3%	2 13.3%	5 33.3%	3 20.0%	5 33.3%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	4 26.7%	4 26.7%	3 20.0%	0 0.0%	8 53.3%	4 26.7%	2 13.3%	7 46.7%	5 33.3%	5 26.7%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	
	隼人地区	189	109 57.7%	28 14.8%	97 51.3%	20 10.6%	61 32.3%	66 34.9%	33 17.5%	19 10.1%	69 36.5%	52 27.5%	31 16.4%	25 13.2%	114 60.3%	60 31.7%	18 9.5%	113 59.8%	41 21.7%	37 19.6%	9 4.8%	13 6.9%	3 1.6%	
	福山地区	7	5 71.4%	1 14.3%	3 42.9%	2 28.6%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%	6 85.7%	3 42.9%	0 0.0%	6 85.7%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

問 22 霧島市（お住まいの地域）が子育てしやすい環境だと思いますか、当てはまる番号に1つ○をつけてください。

◇母の就労形態別にみると、ひとり親の「どちらかといえばそう思う」の割合がほかの就労形態より低く、「どちらかといえばそう思わない」の割合がほかの就労形態より高くなっています。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	全くそう思わない	わからない	無回答
全体(単純集計)		667	79 11.8%	365 54.7%	127 19.0%	31 4.6%	56 8.4%	9 1.3%
子の学年別	1年生	37	6 16.2%	15 40.5%	8 21.6%	3 8.1%	5 13.5%	0 0.0%
	2年生	55	5 9.1%	29 52.7%	9 16.4%	3 5.5%	8 14.5%	1 1.8%
	3年生	91	8 8.8%	54 59.3%	15 16.5%	5 5.5%	7 7.7%	2 2.2%
	4年生	108	13 12.0%	64 59.3%	19 17.6%	7 6.5%	5 4.6%	0 0.0%
	5年生	169	24 14.2%	84 49.7%	40 23.7%	4 2.4%	14 8.3%	3 1.8%
	6年生	181	18 9.9%	109 60.2%	29 16.0%	7 3.9%	15 8.3%	3 1.7%
母の就労形態別	ひとり親	52	8 15.4%	19 36.5%	13 25.0%	7 13.5%	4 7.7%	1 1.9%
	フルタイム	270	28 10.4%	152 56.3%	53 19.6%	9 3.3%	25 9.3%	3 1.1%
	パート	240	31 12.9%	131 54.6%	43 17.9%	13 5.4%	19 7.9%	3 1.3%
	専業主婦	92	9 9.8%	57 62.0%	16 17.4%	2 2.2%	7 7.6%	1 1.1%
	その他	13	3 23.1%	6 46.2%	2 15.4%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%
地区別	国分地区	377	47 12.5%	217 57.6%	65 17.2%	15 4.0%	26 6.9%	7 1.9%
	溝辺地区	41	4 9.8%	20 48.8%	12 29.3%	3 7.3%	1 2.4%	1 2.4%
	横川地区	12	0 0.0%	5 41.7%	3 25.0%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%
	牧園地区	20	1 5.0%	9 45.0%	8 40.0%	0 0.0%	2 10.0%	0 0.0%
	霧島地区	15	2 13.3%	9 60.0%	3 20.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%
	隼人地区	189	24 12.7%	102 54.0%	32 16.9%	9 4.8%	21 11.1%	1 0.5%
	福山地区	7	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%

問 23 子育てに関する情報をどのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

◇属性による大きな違いは何えませんでした。

(上段：人 下段：%)

		標本数(人)	親族(親、きょうだいな ど)	隣近所の方、知人、友人	幼稚園・保育園等	市役所や市の機関	市の子育てガイドブック	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌・育児書	インターネット	コミュニティ誌	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	無回答
全体(単純集計)		667	313 46.9%	446 66.9%	162 24.3%	134 20.1%	88 13.2%	141 21.1%	67 10.0%	392 58.8%	44 6.6%	17 2.5%	10 1.5%	17 2.5%	11 1.6%
子の学年別	1年生	37	18 48.6%	25 67.6%	9 24.3%	3 8.1%	3 8.1%	10 27.0%	4 10.8%	20 54.1%	0 0.0%	1 2.7%	1 2.7%	0 0.0%	1 2.7%
	2年生	55	28 50.9%	32 58.2%	15 27.3%	9 16.4%	6 10.9%	6 10.9%	7 12.7%	23 41.8%	1 1.8%	2 3.6%	3 5.5%	2 3.6%	1 1.8%
	3年生	91	42 46.2%	60 65.9%	21 23.1%	26 28.6%	13 14.3%	16 17.6%	9 9.9%	59 64.8%	11 12.1%	4 4.4%	0 0.0%	2 2.2%	1 1.1%
	4年生	108	55 50.9%	70 64.8%	31 28.7%	23 21.3%	16 14.8%	23 21.3%	9 8.3%	69 63.9%	12 11.1%	2 1.9%	2 1.9%	5 4.6%	0 0.0%
	5年生	169	75 44.4%	115 68.0%	41 24.3%	28 16.6%	28 16.6%	39 23.1%	16 9.5%	109 64.5%	7 4.1%	4 2.4%	2 1.2%	2 1.2%	4 2.4%
	6年生	181	81 44.8%	126 69.6%	37 20.4%	40 22.1%	19 10.5%	44 24.3%	21 11.6%	91 50.3%	12 6.6%	4 2.2%	2 1.1%	6 3.3%	3 1.7%
母の就労形態別	ひとり親	52	23 44.2%	32 61.5%	12 23.1%	11 21.2%	4 7.7%	12 23.1%	4 7.7%	29 55.8%	3 5.8%	0 0.0%	2 3.8%	3 5.8%	1 1.9%
	フルタイム	270	114 42.2%	171 63.3%	64 23.7%	57 21.1%	43 15.9%	60 22.2%	21 7.8%	153 56.7%	20 7.4%	9 3.3%	3 1.1%	10 3.7%	4 1.5%
	パート	240	122 50.8%	174 72.5%	70 29.2%	45 18.8%	22 9.2%	49 20.4%	30 12.5%	146 60.8%	14 5.8%	4 1.7%	3 1.3%	1 0.4%	5 2.1%
	専業主婦	92	46 50.0%	61 66.3%	14 15.2%	19 20.7%	16 17.4%	18 19.6%	10 10.9%	60 65.2%	6 6.5%	3 3.3%	2 2.2%	3 3.3%	0 0.0%
	その他	13	8 61.5%	8 61.5%	2 15.4%	2 15.4%	3 23.1%	2 15.4%	2 15.4%	4 30.8%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%
地区別	国分地区	377	171 45.4%	261 69.2%	90 23.9%	82 21.8%	49 13.0%	80 21.2%	39 10.3%	216 57.3%	23 6.1%	8 2.1%	7 1.9%	10 2.7%	8 2.1%
	溝辺地区	41	19 46.3%	27 65.9%	12 29.3%	5 12.2%	3 7.3%	6 14.6%	2 4.9%	21 51.2%	1 2.4%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.4%	
	横川地区	12	9 75.0%	4 33.3%	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	3 25.0%	1 8.3%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	牧園地区	20	5 25.0%	9 45.0%	6 30.0%	7 35.0%	2 10.0%	2 10.0%	2 10.0%	11 55.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	霧島地区	15	7 46.7%	11 73.3%	6 40.0%	3 20.0%	2 13.3%	4 26.7%	2 13.3%	11 73.3%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	
	隼人地区	189	95 50.3%	127 67.2%	42 22.2%	30 15.9%	27 14.3%	43 22.8%	19 10.1%	120 63.5%	16 8.5%	8 4.2%	2 1.1%	5 2.6%	
	福山地区	7	4 57.1%	5 71.4%	3 42.9%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

II. 自由記述回答の主な意見（抜粋）

1 就学前児童保護者調査

問 25 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

カテゴリ	件数
公園、遊び場、居場所、安全について	70
医療費窓口負担、経済的支援、補助金について	68
教育・保育、一時預かりについて	53
子育て支援、ひとり親支援について	42
アンケート、情報発信について	12
病院、病児病後児、検診、健診について	11
土日、長期休暇について	10
小学校、中学校、通学について	9
学童、放課後児童について	7
その他	23
回答者数	305

○カテゴリ別の主な意見

【公園、遊び場、居場所、安全について】

- ◇公園の遊具が段々とリニューアルされて 1 歳の子どもも楽しく遊べるようになりました。ありがとうございます。それから、子育て支援センター(ひだまり、ポッケ、アトムの家)にとっても助けられました。子育て中のお母さん方の心の拠り所ですので、事業がさらに充実し、継続していくことを願っています。(国分地区、1 歳)
- ◇こども館やキッズパークの存在がありがたいが、小学校に上がった姉だけ一緒に遊べなかったりどうすればいいか、1、2 年前はかなり悩みました。(隼人地区、6 歳)
- ◇以前大分市に住んでいましたが霧島市だけでなく鹿児島県全体が子育て支援について遅れていると感じます。子どもが遊ぶための公園は高齢者のグランドゴルフの練習場になっています。通り過ぎるだけで邪魔をするなど注意されることすらあります。子どもが思い切った体を動かせる遊具がたくさんある大きな公園(グランドゴルフはそれ以外の公園で行ってもらう前提)があると過ごしやすいと思います。(国分地区、6 歳)

- ◇現在住んでいる霧島田口は近くに公園がなく、国分まで下って遊ばせているので、「公園に気軽に行く」ということができません。「ちょっと時間あるから行こう！」と思える距離に公園が欲しいです。「こども館」に姉妹で行くと、必ず2人で1つの部屋を利用しないといけないので、「それぞれの子に大人がつけるのであれば別で行動できる」ようにしてほしい。例えば0才と2才の子を連れて行ったら、2才の子に合わせると0才の子はその部屋では遊べない…。せっかく年齢に応じた部屋が用意されているのに残念でした。(霧島地区、2歳)
- ◇都城市の図書館のような広々としていて子連れでも行きやすい図書館をつくってほしいです。今回このような調査票が届き、思っていたことをお伝えできてよかったです。今後改善されることを期待しております。ありがとうございました。(隼人地区、2歳)
- ◇牧園地区は、子どもが遊べる公園などが少ないと思う。雨の日でも外で過ごせる場所や図書館も土日あけてほしい。それから、国分と隼人ばかり施設が充実していくのに地区での差を感じる。霧島市内で「うわば」「したば」と呼ぶのを聞きますが、差別的表現だと感じる。霧島市内で、観光地なのは牧園、霧島町だと思う。もっと霧島市内でもアピールをして市内の人たちも知っていくよう施設を整えてほしい。(牧園地区、6歳)
- ◇霧島市が合併したためなのか、市内での差を大きく感じます。まず、子供が遊べる公園が近くにありません。せめて各小学校区に1つは作ってほしいです。(霧島地区、3歳)
- ◇遊具が壊れている公園が多いです。すかいぴあのような施設が他にもできてほしい(広い、雨の日は遊ぶ場所がない)。すかいぴあは狭いし、6歳までしか利用できないし、場所が遠いです。(溝辺地区、4歳)
- ◇陵南小区に、児童館や、図書館を作って欲しい。みそめ館の図書館は、子ども1人で行ける場所ではないため、今後も含めて利用しづらい。高台ではなく、住宅地から徒歩で行ける場所に作って欲しい。(溝辺地区、1歳)

【医療費窓口負担、経済的支援、補助金について】

- ◇3歳児以上無償化のように0～2歳児の保育料も無償化にして欲しい。所得によって利用料金が違うのは納得できない。それが平等に利用料金を一律にしてください。学校の給食費も市町村別ではなく全国一律で無償化にするべき。(福山地区、1歳)
- ◇3人目の子供が欲しい気持ちもあるが、現在の金銭的負担や時間の負担を考えるとこれ以上は子育てが難しいと思う。学童は金銭的にも高く、時間も融通がきかずフルタイムで働くのは難しい。長期休暇は学童でテレビなども長時間見ている。外にも遊びに行けない。
- ◇お金がなく子供に我慢させている。もう少し経済的支援が欲しい。(隼人地区、6歳)
- ◇こども園の利用料について、階層次第では小学生にあがると同時に第一子として認められず第二子第三子の保育料があがってくるというのがつらいです。増税や物価上昇、お給料も増えず税金もあがり収入も減り、保育料もあがっては、なんのために働いているのかわからなくなります。子供たちという時間と保育料を天秤にかけ、保育料があがる今は昇給さえ拒んでいます。こどもを見てくれるところがあることには大変感謝しています。ただ

すこし、もう少し子どもが寂しくないように、将来子どもが経済的にくるしくないように、親である自分たちも頑張っていますので、そういった政策がでてくることを希望します。
(国分地区、4歳)

◇ひとり親世帯への手当等は充実していると思いますが、現実には共働き世帯も生活難だと思います。共働きだから収入が2倍ではありません。それなりに納める税金等もあるわけですから…。共働き世帯の子供が多い家庭は、物価の上昇等で家計がひっ迫しているのが現状です。霧島市が子育てしやすいというのなら、どうか平等に給付等は配布をお願いします。働く世帯からは税金ガッポリ、ひとり親世帯の方のほうがよっぽどリッチに生活しておられます。(国分地区、5歳)

◇医療費の助成の年齢を引き上げてほしいです。全額助成は未就学児までなので小学校までは助成して頂けると助かります。前に住んでいた市は18歳まで全額助成だったので助かっていました。(国分地区、5歳)

◇医療費の窓口での支払いをなくしてほしい。都城市のように保育料、子ども医療費を無料化してほしい。(国分地区、3歳)

◇給食費、制服購入の補助制度を拡充してほしい。(隼人地区、3歳)

◇子ども医療費助成の拡充、完全保育料無償化、給食費無償など他県、他市町村のような取組があるといいです。(隼人地区、0歳)

◇子育て支援を実感するのは、これからかな？と思います。里帰り後や住み慣れてないこともあり支援内容が分かりにくく、産前や産後支援はあまり利用出来なかったです。大変だと思いますが、今後も益々、子育てや保育環境がよくなると思い楽しみにしています。幼児教育・保育無償化になるといいなあ。(国分地区、0歳)

◇子育て世代への配慮が、ここ数年で手厚くなっても来ましたが、その分対応している方への補助も並行して行って頂きたい。預かる人が足りていない現在。減らない対応をお願いします。(国分地区、5歳)

【教育・保育、一時預かりについて】

◇ファミリーサポートについては、このご時世知らない人へ子供を預けるということにかなりの抵抗を感じます。育休を取り、子供が1歳のタイミングで復帰となりますが、受け入れ先がかなり少なく、とても困りました。産後ケアは、上の子(2才)の時は助成がなく、お金のある人しか利用できないイメージでしたが、下の子(0才)の今は、助成があり3回すでに利用しています。ありがとうございます。(国分地区、2歳)

◇医療的ケアが必要な子どもの預かりを充実させてもらいたい。(隼人地区、2歳)

◇育児休業の後はほとんどの母親が時短勤務になったり、お子さんの体調不良で働ける日数が減ったりしていると思いますが、保育料もかかるため、金銭的にも精神的にも両立することがとても大変だと思います。保育料の為に働いているような状態です。(隼人地区、1歳)

- ◇一時預かりの制度があったので休業中であることや復歸の時にその保育園を利用するか分からないので利用しづらい。リフレッシュで使っていいのか、気を遣う。(国分地区、1歳)
- ◇保育園が18時以降は延長料を取られるが、就労時間など考慮して個別対応をしてもらいたい。17:30まで仕事で18:00～延長だと、ほぼ毎回支払いが発生する。兄弟の習い事で遅れることもあるため、なんとかなるといいと思う。(国分地区、4歳)
- ◇希望の保育園になかなか入れず遠方の保育園まで送迎をしている話をききます。仕事を短時間勤務にして収入は減るのに送迎に時間を要し、自宅で子供と過ごす時間が短くなるのは残念なので、より希望の園に入園しやすくなればと思います。(溝辺地区、2歳)
- ◇現在子ども園に預けて働いていますが、平日の行事が多く仕事を休まないといけないのが大変です。(国分地区、3歳)
- ◇子育てをしていくには、職場環境と理解が必要。また、安心して預けられる環境も必要である。預ける時間も朝が早かったりするため、フレックスタイムなどの導入も必要。どのようなサポート体制があるのか自ら調べなくても分かりやすいような、市役所発信の広報があると良い。(隼人地区、2歳)
- ◇就労の有無に関係なく保育園に入れるような環境を整えてほしい。(育休が取りたくても取れずに退職したので)(国分地区、0歳)
- ◇不妊治療で一時保育を利用したかったが利用できなかった。不妊治療をしていると転職が難しい。1人子供がいて2人目の不妊治療の開始をしたかったが、預ける場所がないと難しいと感じた。(牧園地区、1歳)
- ◇待機児童が多いため、保育施設を増やすべき。そのためには保育士の待遇をもっと良くするべき。具体的には給料の大幅増。保育士の給料が少なすぎると思う。(国分地区、3歳)
- ◇発達障がいのある子が安心して入所等できる施設を充実させてほしいです(保育園など)(溝辺地区、4歳)
- ◇病院行く時や用事がある時だけでも預かってもらえる場所がほしかった。小さい子がいると中々いけない。産後ケアができなかった。(溝辺地区、5歳)
- ◇保育園問題で仕事復歸のタイミングが難しい。復歸しても保育料が高くて生活が安定しない。0歳児から無料にしてほしい(国分地区、6歳)
- ◇子どもが1歳になるまではそばで成長を見守りたかったが、4月入園でないと入園が難しくなるということで諦めるしかなかった。年度途中入園の枠拡充も検討してもらいたい。(隼人地区、0歳)
- ◇下の子が生まれたばかりのころ、上の子は1度園を退園しないと行けなかった(私が産休・育休)、誰でも通園制度はいい案だと思いました。(国分地区、3歳)

【子育て支援、ひとり親支援について】

- ◇3年前まで東京に住んでいて手厚い環境だったからか、霧島市は子育てに手厚くないと感じるこの環境での共働きは非常に厳しいと思う(隼人地区、5歳)
- ◇オムツや育児用品などの支援や割引券などが欲しい(国分地区、0歳)
- ◇ひとり親世帯ですが、年収の都合で児童扶養手当等、ひとり親で受けられる援助が何一つ受けられませんでした。年収は400万程度で決して余裕のある生活というわけではありません。給食費も全額負担…決して子育てしやすい地域とは思えません。(霧島地区、5歳)
- ◇マタニティハラスメント→男性が多い職場において、心無い言葉をいわれ働きにくい環境に。職場で全体セミナーなどが行われ、知識を身に付けるよう行政から指導を行ってほしい。子供の教育等、母親が主となる。仕事を取ると、子どもの通いごとや接する時間が減少し、子供の教育を取ると収入が減少し、教育を受けられなくなる。仕事を続けられるよう、病児保育の充実(利用している園で利用できるなど)を図り、サポートセンターの長期利用(現在は短期のみで利用しづらい)を願う。(国分地区、5歳)
- ◇育休については特に男性は取得できない雰囲気職場によってあると思います。また、夫が休んだからといって、夫自体が育児休暇で何ができるのか…を教育する体制も必要に思います。育児をするにあたっては、夫の教育が大切だと思うのでそちらへも力を入れていただけたら…母は助かると思います。(国分地区、6歳)
- ◇産後ケアの補助ありでの利用回数を増やしてほしい。(溝辺地区、0歳)
- ◇子育て支援センターが近隣にたくさんあり助かります。霧島市は土地柄、転勤の方も多いため、全く知らない土地に来た方も利用しやすく、新しいコミュニティが作れるので今後も継続してほしいです。(国分地区、1歳)
- ◇私が引っ込み思案な性格で周りにママ友がいないのでちょっとした子育てサロンがあると本当に助かります(溝辺地区、6歳)
- ◇色々なサポートがあってもよいですが、隼人や国分に集中しており、定員いっぱいであったりと、なかなかすぐには利用出来ない現状があります。需要がまとまれば、近くでもサービスを受けれたらと思います。(溝辺地区、3歳)
- ◇霧島市は、日本一の子育てを目指していると看板を見かけたことがあるが、全く実感が湧かない。子供が産まれたら給付金とかかなりの自治体で行われてるが、霧島市は昨年からやめてる。もっと、日本一を掲げている取り組みや成果を実感できるレベルで提供してほしい。(国分地区、5歳)
- ◇飯能市で行っている「0歳児おむつ無償化事業」はとてもいいなと感じます。子育てをするにあたり、金銭面でとても悩んでいます。おむつ無償化という小さいことが子育て世帯にとってはとても大きいことのように感じます。霧島市も急速な少子化の進行をくい止める為にも小さいことから進めるべきだと思う。(国分地区、1歳)

【アンケート、情報発信について】

- ◇この調査票を書くために、まあまあの時間をついやしたので、この調査票をしっかりと参考にして、子育て支援をしていただきたい。(霧島地区、2歳)
- ◇文字だけでは分からないので理解できないことが多いです。(横川地区、3歳)
- ◇このアンケートに答える中で子育て支援事業がいろいろあることを知った。妊娠中にいろいろ知れたらよかった。正直、子育てに関することに関わらず、霧島市のHPはとにかく見づらい。若者でネットに比較的なじみのある人からみても分かりづらい。子育てに力をいれるなら、もっと分かりやすいHP作成をお願いしたい。せっかくいろいろされているのにもったいないと思う。(国分地区、2歳)
- ◇子育て世代の意見が通りやすいように霧島市のアプリからすぐに意見を書ける、それに対して返答があるなどあればありがたい。(隼人地区、5歳)
- ◇コロナ禍での出産だったこともあり、産後は子どもを通じた知り合いや友人を作ることが難しくSNSに頼ることに慣れていました。専業主婦でいると閉鎖的で情報集めに苦労します。その為、情報収集がSNS頼みになっていると自分でも感じています。直接保健センターや支援センターの先生方から教えて頂くことは成長と発達のことなので、子どもが1歳を過ぎて初めて子育て支援センターに行くようになり、就園やお稽古、様々な支援センター等の情報収集が他の保護者の方のお陰でできるようになりました。霧島市は子育て支援センターが充実していて魅力的だなと感じている為、一括して霧島市の子育てが分かるようなもの(子育て支援センターの月のスケジュールや、各センターの行事の様子など)を見ることが出来るInstagramのアカウントを代表で1つ開設をして貰えるといいのかな…と思うことがあります。何か近い形にしてもらえるとありがたいです。(国分地区、2歳)
- ◇市の子どもセンターなど小さい子どもが自由に遊べる施設があるのは知っているが、どのような施設なのか分からないことが多いので、パンフレットのような形もしくはホームページを充実させて、施設の概要や利用方法などの情報を開示してほしい。また、その情報を定期的に発信(メールなど)してもらいたい。(国分地区、1歳)
- ◇情報がアップデートされていないことも多いのでホームページもしっかり更新してほしい。母子モのアプリをインストールしたが、健診などでは未だ紙の母子手帳で、出産の時以外全く活用されていないので、インストール促すなら、その後も役に立つものにしてほしい。(国分地区、0歳)

【病院、病児病後児、検診、健診について】

- ◇うちの子は言葉の発達に遅れがあり、1人で悩んでいたのですが、健診の際保健センターの方に相談するとすぐあゆみさんへ引き継いでいただき、そこからSTさんによる相談をする機会を作っていただいて、療育機関を紹介してもらったので今はそこを利用しています。親身に相談に乗っていただけなので、霧島市は子育てしやすい環境だと思います。療育の費用なども市が負担していただけるのは非常に助かっております。(国分地区、3歳)

- ◇子どもの精神的なことを相談、診断できる病院がほしい。保健センターなど、相談できる環境をふやしてほしい。待機の時間が長過ぎるので。幼稚園や保育園の先生の人数をもっと増やしてほしい。(国分地区、5歳)
- ◇小児科併設の病児保育がかわの小児科しかない。保育園などに付属している病後時保育はある程度症状が落ち着かないと入れず、仕事への影響が大きい。小児科に病児保育がついているところが増えると嬉しい。(隼人地区、4歳)
- ◇土日祝日や夜間救急について体制が不十分と感じます。始良市や鹿児島市まで行く事がしばしばあり、非常に不便です。子どもは急に具合が悪くなることが多いのは皆知っていることです。そのような事態への対応が不十分なのは安心して子育てができる市とは呼べないかと思います。医療機関の方々が日々頑張っておられる事は承知していますが、子どもの救急に対しては常に対応できるようにしていただきたいです。(隼人地区、6歳)
- ◇病児病後児保育の定員が少なすぎて明日予約したいと言っても定員オーバーで断られる。子どもの病気は突然なので対応できるよう施設数を増やすなどしてほしい。(隼人地区、1歳)
- ◇霧島市で24時間小児救急が対応できるようにしてほしい。(牧園地区、0歳)

【土日、長期休暇について】

- ◇1.保育園は安心して子供が預けられます。保育士、先生方のおかげです。保育士の待遇（給与アップ、処遇改善）を求めます。2.小学就学時の不安（放課後の過ごし方、長期休みの過ごし方）があります。小学以降も保育園のような、親の就労に合わせて預けられる施設制度があればいいと思います。検討をお願いします。3.霧島市は施設や公園がある程度充実していると思います。親子で利用させていただいています。ありがとうございます。(国分地区、3歳)
- ◇放課後児童クラブとの長期休みの利用可をもっと増やしてほしい。放課後児童クラブ利用料ひとり親の金額も安くして預けやすいようにしてほしい。(国分地区、5歳)
- ◇学童時の長期休みの給食化をしてほしい。(国分地区、1歳)
- ◇現在子供を預けている保育園が土日祝日は両親ともに仕事じゃないと預けられません。どうしても用事がある時だけでもみてもらえる施設があれば助かります（その保育園で見てもらえたら1番いいのですが…）。(国分地区、1歳)
- ◇子どもの発達等で悩んでいた際に、支援センターに相談しようとしたが、平日の日中のみと言われた。フルタイムで働いており、日頃から子どもの病気休暇を取得していたため、休みを取れず相談することすらできなかった。(隼人地区、4歳)
- ◇小学校、夏休み期間は長いので夏休みのみ学童預かりが可能な施設があるとありがたいです。子育てガイドブックなどがあり、細かく記載されているのでとてもありがたいです。ありがとうございます！（隼人地区、6歳）

◇平日での仕事がほとんどで、自分の用事を済ませたいとき、土曜保育が利用できるようになってほしい。事前に申請したら月1でもいいので使えるようになってほしいと思います。(国分地区、2歳)

【小学校、中学校、通学について】

◇通学路の歩道の整備が進んでいないように思えます。PTA 駐車場のそばの用水路、飲食店沿いの道路は特に大きな事故がいつ起こってもおかしくないと感じるので、子供たちの命を守るためにも早急に整備していただきたいです。(隼人地区、3歳)

◇学校というのは子どもの社会性を身に着ける場所だと考えています。あまりにも少ない人数ですと子供同士の社会性が身に付きにくいのではないかと思います。また職員が足りていないのであれば統合もどんどん進めてほしいと思います。(横川地区、5歳)

◇今、横川町に住んでいますが、小学校に上がるとなると横川小まで親の送迎が必要です(家から学校まで遠いため)。学童に入れたとして、迎えが18:30 ごろとなり、習い事をするとしても今の週5フルタイムでは難しく、働き方を見直すときがあるかと思っています。今の働き方に満足しているのですが、子供ともっと一緒に過ごす時間も欲しいというのが本音です。仕事と育児の両立の難しさに直面していますが、今の会社も時短が小学校にあがるまでという既定のため、小学校低学年は帰りが早く、習い事も始める時期なので、時短勤務が小学生低学年ぐらいまでできる風潮になればよいなと思います。(横川地区、4歳)

◇山間部では子供が少なくなっている。地域主体の考えで子供のための統廃合を拒否する考えもおかしい。子供のためには小学校の統廃合も必要だと思う。その辺を市全体で考えて欲しい(横川地区、6歳)

◇私は食育を大事なことだと思っており、特に子供への食育は体を作っていく段階で非常に重要視すべき所だと感じています。昨今の給食は節約に追われているせいかとても貧相だと聞きました。豪華にしてほしいとは思いません。しかし、食材にはこだわっていただきたいです。有機野菜、地産地消、無添加。子供たちは宝なので、食事の面から充実したサポートができると子どもは何事にも意欲的になると思います。どうか、よろしく願いいたします。(隼人地区、5歳)

◇小学校が遠すぎる。行きはバスがあるのに、帰りが無い。必ず迎えに行く必要がある。なぜ小学校へのバスがないのだろうかと思う。働きたくても15時には学校へ行くのでかなり厳しい。小学校の下校バスも出てくれると助かる。(霧島地区、0歳)

◇子育てや教育に関して、従来のルールのまま様々な事業が行われている事に疑問を感じています。現在に適応した仕組みの構築をおこなえるよう、話し合いの場を設けて戴きたいと思っています。(横川地区、6歳)

◇子供が安心して小学校に行けるよう、通学環境を整えてほしい(スクールバス、行政で通学用のバスを導入するなど...)。あと、子供が安心して通学できるよう歩道を設置してほしい。過疎地域の子育て環境の充実を最優先してほしいです。(牧園地区、0歳)

【学童、放課後児童について】

- ◇キッズパークきりしまの利用について、子どもを迎えに行くといつも私から離れずたくさん泣きます。その姿を見るたびに楽しくないのか、ちゃんと見てもらえているのか不安になります。まだ1歳で話すこともできないため、もちろん何があったか子供から聞くことはできませんが、迎えに行ったときに先生からこんなことをしていた、とか他の子とこんなことをしていたなど話してもらえたらな…と思います。また、人手不足なのかもしれませんが、まだお昼寝が必要な子のために静かな空間を設けたり、1枚だけでもいいから預けた日の様子の写真を見れたりしたら、もっと安心して預けられるのになと思ってしまいます。私1人の意見でかもしれませんが、利用者の意見も聞いていただき、より安心して預けられる体制を整えていただけたらと思います。よろしくお願いします。(国分地区、1歳)
- ◇学童に関して、現在の校区の学童の評判があまりよくなく（現在は分かりませんが…）、他の校区の学童へ通わせています。口コミでしか学童の情報が得られないので（保育園もですが）、自分で決めるのがとても難しい。本人が行きたくないといえは無理に通わせられないので、小1の夏に辞めてしまったりすると夏休みずっと1人で留守番となるのは困るので、口コミや評判のいいところへ行きたいと思う（長く通いたいの）。(国分地区、4歳)
- ◇就学前で学童の利用ができなくなり、放課後デイサービスの利用を検討している。現在は卒園児しか預かって頂けない児童クラブが多く、自営業であるが、仕事に支障がでるかと思う。何らかの手段で色々な相談ができればと考えている。(霧島地区、6歳)

【その他】

- ◇いろいろ考えて下さりありがとうございます。子どものためにも母親が孤独にならないよう、がんばりすぎて疲れてしまわないようになったらなと思います。お母さんは頑張りすぎると思います。(隼人地区、6歳)
- ◇いろんな方々のおかげで子育てができています。これからも子供達、親のことを考えて頂いて支援をよろしくお願いいたします。(国分地区、6歳)
- ◇教育委員会の教育相談がありますが、もう少し教育相談の内容を考えた方がいいと思う。利用したが、教育相談の意味のない気がした保健センターの方や療育機関の方にはたくさん相談に乗ってもらいとても心強かった。(隼人地区、6歳)
- ◇市の職員の方、市の子育て支援事業に携わってる方、みなさんとてもやさしく、いつでも親身になって話すことができます。同じ学校（上の子の）には幼稚園や保育園に全く預けず小学校に入学させた方がいらっしゃいました。社交性や社会性がなく、周りにとても迷惑がかかりました。そういう方にもう少し目を向けてほしいです。幼稚園や保育園は義務教育ではないが、社会的に少しでもかわりを持たない家庭には、目をつけて社会とのかわりを持たせるサポートしてください！（国分地区、2歳）
- ◇自動車学校に託児所を設置していただきたいです。他県から転勤してきて、すぐに自動車学校に通いたかったのですが、子供の預け先がなくあきらめざるを得ませんでした。幼稚

園に入園するまでの約4年間、あまり出かけられず、子供にはかわいそうなことをしたな…と思っています。私のほかにも同じような状況で困っている人がいたので、こちらに記載させていただきました。(幼稚園に通っている間に車校に通い、免許取得しました!) 車さえあれば、とても子育てしやすい街だと思います!(国分地区、6歳)

◇積極性、社交性のない方には子育ての情報がインターネットとなってしまう時代なので、気軽にかつ顔は見えなくても支援してもらえると心強いかもしれません。どこかで目にした、〇〇県は小学校ランリュックがとてもうらやましかったです。ランドセルもいいのですが、体がいまだ小さい子たちに毎日重い教科書を持たせ歩かせるので、ランリュック指定などそろえたり、どちらも可と分かりやすく提示あるといいなと思いました。(国分地区、6歳)

◇大阪から引っ越してきたため、育休中であるが離職しないとならない為、どのタイミングで復帰したらいいか、保育園を探すタイミング、職探しをするタイミングが分からず日々焦っています。(国分地区、0歳)

◇牧園町にも買い物ができる場所を作ってほしい。病院等も急なケガ・発熱など対応できる場所がなくて不便。小規模校の統廃合に力を入れてほしい。(牧園地区、6歳)

◇牧之原幼稚園閉鎖後の園庭の開放(福山地区、1歳)

◇地域によっては(子どもが少ない地域など限定して)市営住宅から別の市営住宅への引っ越しが可能にすると、田舎で子育てしたい方達は引っ越しやすくなると思う。(溝辺地区、5歳)

2 小学校就学児童保護者調査

問 24 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

カテゴリ	件数
医療費窓口負担、経済的支援、補助金について	59
公園、遊び場、居場所、安全について	57
小学校、中学校、通学について	22
教育・保育、一時預かりについて	21
子育て支援、ひとり親支援について	16
アンケート、情報提供について	12
病院、病児病後児、検診、健診について	10
学童、放課後児童について	9
仕組みづくりについて	8
土日、長期休暇について	5
その他	18
回答者数	237

○カテゴリ別の主な意見

【医療費窓口負担、経済的支援、補助金について】

- ◇子どもの医療費について、対象年齢の引き上げと、窓口負担をゼロにしてほしい。(霧島地区、5年生)
- ◇赤ちゃんだけでなく、子供はいろいろとお金がかかるんだなーと思い日々過ごしています。おさがりの無料提供の場とかあったらいいと思う(制服も)。コロナになってから寄付するところもなくなって。(国分地区、5年生)
- ◇学費、給食費の無償化。施設に税金使うよりこちらに使った方がよい。(牧園地区、5年生)
- ◇怪我や大きな病気をした時にかかれる病院が少ない。医療費の窓口負担をなくしてほしい。(隼人地区、3年生)
- ◇ひとり親の方達への支援は一生懸命に見えるが、中間層の世帯へは、不公平に感じる人が多い。国の制度がなのかもしれないが、少子化対策に重点を置くのはいいことだが、既に出産し歳が離れた兄弟がいる場合には何も援助を受けられなかったり、一生懸命働いて税を納めているのにどうしても不公平感を感じてしまいます。愚痴にしかならないのはわかるのですが…(国分地区、2年生)

- ◇国分隼人方面の施設の充実ばかりが中心となっているように思います。それ以外の町内はどんどん子供の数が減ってきており、親が一生懸命働いても、住居費が高くなっていくばかりでとても歯がゆい気持ちをずっと抱いて生きています。早急に市営住宅の家賃の算定の仕方を見直していただきたいと声を大にして伝えたいです。本当に対応をよろしく願います。(横川地区、5年生)
- ◇子育ては小学生までではなく、その先も続きます。経済的余裕があれば、解決できることも多々あります。共働き家庭であっても、税金を支払い、生活は楽ではありません。ひとり親世帯や非課税世帯だけの助成では共働きで税金を支払っている子育て世帯は、児童クラブのお金や学校に支払うお金もあり、子どもを犠牲にして働かざるおえません。未就学児だけでなく、学生の子どもを持つ市民平等に助成してほしいです。(国分地区、5年生)
- ◇第一子が小学校に上がったら、第二子以降を半額から通常にするのを見直してほしいです。
※第一子が幼稚園、第二子が保育園のときの保育料よりも、第一子が小学校、第二子が保育園で1人分なのに、保育料の方が1万円程高くなった為。(国分地区、1年生)

【公園、遊び場、居場所、安全について】

- ◇自分たちが暮らす地域には子どもが歩いていける範囲に広い公園が無かったり、学童は常に定員いっぱい、小学生になると放課後の遊び場が全くないのが気になる。(隼人地区、3年生)
- ◇0～3歳までは行くところがありますが、上が4歳以上になると休日の日に行くところがない。病院やキッズパークでも、コロナ前みたいにおもちゃがまだない。(国分地区、4年生)
- ◇育休中、園庭開放や市の保健所での子育て相談等で、助かりました。育休に入り、周りに友達がいない中、孤独になりそうなところ、出かける場があり、そこでママ友と出会えました。ただ、年齢があがると、公園でボール遊びができなかったり、自転車の練習をする場所がなかったり、子どもが自分で行けるのびのびと身体を動かせる場が少なく感じています。(国分地区、6年生)
- ◇雨が降った日、小学生が利用出来る室内で遊べる施設を作って欲しい。(国分地区、2年生)
- ◇近所の公園の遊具が新しくなっていて、子どもたちが喜んでいました！夏休みは外が暑くて公園で遊ばず、家で過ごすかショッピングセンターに行って友達と遊んでいるようです。子供だけでも楽しめる場所があればいいのになあと思います。(国分地区、6年生)
- ◇公園を整備したが、遊具といえるような遊具はなく、芝生になり、高齢者のゲートボール用でしかない。以前はもっと活用されていたと感じている。国は全くあてにならないので、石川県のように頑張ってもらえたら、住んで良かったなと思います。(溝辺地区、4年生)
- ◇国分隼人は支援環境が整い子育てがしやすいのではないのでしょうか？車を使い親子で行く場は増えたのですが、子供たちだけで遊べる身近な公園が溝辺にはありません。(溝辺地区、4年生)

- ◇住吉河川敷公園はとても良い公園だと思います。土、日の利用者が非常に多く駐車場も満車です。時々利用していますが、トイレが1か所しかないので増やしてほしいです。(隼人地区、3年生)
- ◇小さい頃は数時間用事がある時、遊具のある施設に預けたりしていました。高学年の子供が時間単位で預けられる施設（勉強したり、本を読んだり、インターネットができる場所）があればいいなと思います。もしそのような施設があれば利用したいと思います。(国分地区、5年生)
- ◇上の子の幼少期と比べると、充実していると感じます。親になって味わう喜び等あると、日々時間に追われても頑張れます。近くにいる大人が余裕があると子供の心も満たされるので努力しています。仕事があると子だけで留守させることも多々あります。環境（公園や施設）を増やす必要はないと思います。実在する公園（小規模）ほとんど遊んでいる姿を見かけません。また、大規模になると車で出かけなければならない。誰でも利用できるものではない。すかいぴあまで行く時間がなく今まで一度も行ってません。子育てのみではなく、家事支援を活用することで子と過ごす時間が欲しい（理想）。実際には費用負担が大きくなると予定する。(隼人地区、3年生)
- ◇図書館の本の貸し出しを無制限にして欲しい。(くりの図書館のように。わざわざ霧島市からくりのまで借りに行く方もいる。)(隼人地区、1年生)
- ◇霧島市といっても、公園などがあるのは 国分や隼人ばかりで牧園や高千穂は本当にありません。幅広く税金での施設投資を行って欲しい。(牧園地区、4年生)

【小学校、中学校、通学について】

- ◇PTAが強制入会でなく、入会、非入会の選択肢を最初にとるべきだと思います。(隼人地区、3年生)
- ◇もう少し通学路として利用する道を見直し、バスやタクシー通学対応できるようにしてもらいたいと思います。合併して過疎、へき地も増えているのは子育てしやすい環境が整っていないのだと思います。街のほうばかりに施設を作ったり、環境を整えるのも大変良いことです。その代わりに過疎地区へはタクシーチケットや通学に利用できるサービスを整えてほしいです。学校へ通うことは最低限のことなのでまずはここから考えてほしい。(隼人地区、3年生)
- ◇横川町は子供たちが少なくなっています。横川小は新5年以下から10人足らずのクラスです。安良小、佐々木小については全校で10人足らずです。なぜ合併しないのですか？合併を求める保護者がいるのに。困っている子供達がいるのに。地域をまとめてから教育委員会に話しを持ってきてくださいとか話しが出てるようですが、なぜ保護者が地域をまとめるのですか？教育委員会は困っている子供達を救う為の行政機関ではないのでしょうか？早急に合併の話しを進めてください。困っている子供達を助けてください。友達がクラスに一人もいない現実を受け止めてあげてください。(横川地区、6年生)

- ◇学校で、児童期女の子の身体の発達、成長変化関連については、学級担任が男性教諭のときは、相談しにくく、保健教諭との連絡をとりにくい。(地区不明、3年生)
- ◇学校で子どものカウンセリング等が出来ればいい。発達検査など親が学校に相談したら対応してほしい。病院で実費でした。子どもが学校に行けなくなった場合、勉強が遅れないように支援センターでも勉強を教えてほしい。1日国分図書館に行ってもゲームやオセロなどして遊んでいるそうです。不登校でも義務教育の間は学校以外で勉強ができる環境や場所があれば助かります。(国分地区、4年生)
- ◇学校の行事に親が行かないと行けない事が多く、中々仕事が休めない保護者にとっては大変である。(霧島地区、6年生)
- ◇学校行事(特にPTAなど)の時、子どもの預かり先がなく困る。特に低学年の時は心配です。学童に行っていない子供の場合、預け先がありません。学校で預かって頂ければ安心です。よろしくお願いします。(国分地区、3年生)
- ◇教師の質の向上を図るための取組を強化してほしい。(隼人地区、6年生)
- ◇牧園地区では年に1度1つの小学校に集まって(高千穂小は除く)1日を単学級で過ごす日があるが、それを体験した我が子は、グループで勉強できて楽しかった。ドッチボール、バレーやバスケットを同じ学年で初めてできて、すごく楽しかったなど国分隼人ではありえない素晴らしい感想がたくさんです。牧園地区の小学校が1つになっても大した人数になりません。であれば、スクールバスなどを活用し統合することも考えていくべきだと切に願います。そうすることで先生の数も少なく済むかと思えます。また、牧園地区の校長・教頭住宅はひどいです。家の中の寒さ暑さに耐えて、日々勤務されています。どうにかできないのでしょうか?ただでさえ不便なとこに住んでくれているのに申し訳ない気持ちになります。(牧園地区、6年生)
- ◇子どもが小学生になり、手はかからなくなってきたが、PTA、学校行事、部活、習い事等、親の時間がとられる、負担がかかることが増えた。学校とも連携して頂き、先生方や親の負担の軽減に少しでもつながる動きを取ってほしいと思います。(国分地区、4年生)
- ◇支援クラスは増えてきたけど、小学校から中学に上る際など、進路についての情報や安心して相談できる環境や各所へのつながり方が難しいときいています。また、調べが足りないせいかもしれませんが、中学以降の進路の幅が極端に狭い状況がとても不安になります。まだまだ普通と言われる子ども達に基準を合わせている仕組みなので、改善して欲しいと思います。(隼人地区、5年生)
- ◇小学生の放課後は小学校にて預かりしてもらえないか?他県ではあるらしいです(隼人地区、6年生)
- ◇牧園小学校前の横断歩道がほとんど消えかかっている箇所があるので、白線の引き直しをお願いしたいです。実際に横川方面からスピードを出して走ってくる車がとても多いです。(牧園地区、1年生)

【教育・保育、一時預かりについて】

- ◇〈困ってるから預ける〉ではなくて、育児中なら誰でも預けることが後ろめたくない環境を整えてほしい。子どもが日頃から慣れてない場所に、困ったときだけ預けるのは心理的なハードルが高く、どんなに便利なサービスが増えても、そのハードルが下がらなければ使える人は限られてしまうと思う。(隼人地区、3年生)
- ◇2番目の子供がやっと、保育所等訪問等をお願いできた時に、霧島市は、なぜか？その利用料金がかかる事を知りました。始良などは、利用料金は市が負担している様なのに、霧島市は…。中学生になると、発達障害の息子も頼れる場所はほぼ無いと思います。(隼人地区、3年生)
- ◇一人親の家庭のために、夜にある程度遅い時間まで、子供を預かってもらえる施設が増えればいいと思う。(国分地区、3年生)
- ◇障がいのある子供たち（重心）も保護者が困ることなく保育園等に預けられる体制を整えていただけたらいいと思う（医療的ケア児の受入れ等）。障害があるから親が働けないという環境はよくない。外に出て働けることが親を孤立させないことにつながると思うので。(国分地区、5年生)
- ◇長期休みで1日中家にいる子供（小学生）が安心していける（参加できる）行事・場所があるといいなと思います。自宅学習（宿題以外）が気軽にできるように、問題プリントがダウンロード出来たらいいなと思います。(国分地区、5年生)
- ◇不登校に対する選択肢、不登校児の親の働きやすさを改善してほしい。人が足りないのはわかるし、自分の子どもだから必死に動きますが、子ども親も、不登校になるとものすごくメンタルが不安定になります。情報を探すことにもとてもエネルギーを使います。もっと不登校児、不登校児の親の意見も取り入れて子ども達が生きやすくなってほしいと切に願います。(国分地区)
- ◇霧島市の保育園に入れなかった時にもっと保育園の支援センターの解放など交流の場を持っていただくと母親も孤立しないと思います。(隼人地区、6年生)
- ◇娘が4年前に小学校に入学しました。就学前診断で支援学級に入った方が良くかも知れないと言われ、悩みましたがその様にしました。入学後、学校（担任）からは、なぜ支援学級に入ったのか、通常学級でも全然大丈夫そうなのに…等言われました。サポートセンターあゆみで言われた事と、学校で言われる内容が違うためかなり戸惑いました。サポートセンターあゆみと、学校の連携をもっと密にしていればと思います。学校に入学してからあゆみからのサポートが受けづらくなり、不安と心細さがありました。その後、自分で相談員さんを探して放課後等デイサービスに通っています。同じ様な思いをしている方の話も聞きますので、少しでも改善の方向に向かえば良いなと思っています。(国分地区、3年生)
- ◇登下校中のパトロールを強化して欲しい。年々不審者情報などが増え、子供達が安心安全に登下校できるようにお願いします。(国分地区、5年生)

【子育て支援、ひとり親支援について】

- ◇ひとり親に対してもっと手厚くしてほしい。仕事を頑張って収入を増やすと母子手当が減るなど、納得がいかないこともよくあります。仕事面でも子育てしている方たちがもっと入りやすい環境が増えれば、人手不足解消にもつながる気がします。回答になってなかったらすみません。日々思うことを書かせていただきました。よろしくお願いします。(国分地区、3年生)
- ◇育児休暇は取得しづらい職場もあるので平等に取得できるようにしてほしい。看病休暇などもほしい。病児保育があることも知っていますが近くになかったり、そばで看病してあげたい気持ちがあるので、そのような時に休めるような手当てが出来るような支援があれば子育てしやすくなると思います。(横川地区、1年生)
- ◇療育を必要とする子供たちが増えているにもかかわらず、支援員や専門員が少なく、子供たちに十分なケアの提供が出来ていない。また、東京都は高校や都立大学で2024年から授業料無償化にしている。人口が多く財源が多いのかもしれないが、人口が多いところに優遇がよく、少ないところではできないというのもどうかと思う。少子化対策といいながら霧島市はなにも変わっていない。子供だけではなく、大人や高齢者の行政の仕組みももっと変えるべきだとおもう。市民の声を聞いているだけでなにも変わらないのであれば時間の無駄だと思う市民の声を聞き、古い考えではなく新しい考えで対策を講じるべきだと思う。(国分地区、4年生)
- ◇子どもの将来を考えると中学、高校でかなり経済的に負担も多くなり、各家庭の経済力で差が出てくることもあるため、小さい頃より中、高生への支援(子ども手当の額は小さい頃が少なめで、大きくなったら多めが良い)をお願いしたい。(隼人地区、5年生)
- ◇霧島市は子育て支援(市独自のもの)が少ないように感じます。どうか、物価高でみんながより子供のためにも生活しやすい支援、環境を作っていただけたらと思います。(横川地区、4年生)

【アンケート、情報提供について】

- ◇以前もこのようなアンケートをしましたが何一つ変わらないような気がします。(溝辺地区、3年生)
- ◇回答にあたり相当なエネルギーを要しました。おそらく途中で回答するのをやめた方が相当数存在すると思います。把握する必要性に乏しい設問が散見されます。次回アンケートを実施する際は、真に必要な設問を精査するようお願いいたします。(国分地区、2年生)
- ◇子育てに関して利用できるものはなるべく利用したいと思うが、情報がなかなか自分から得られない。メルマガやアプリ等で有益な情報サービスをどんどん流してほしい。(隼人地区、2年生)
- ◇幼稚園に通っていた時は子育てガイドブックをもらっていてサポート内容がわかったけど、小学生になってから市からサポート内容がわかりにくくなった。いざという時にどこへ連

絡してどういうサポートが受けられるのかが知りたい。今回のアンケートで初めて知ったサポートもあり、直接ホームページをみないとわからないのであれば小学校から親へサポート内容のホームページの紹介などの発信もしてほしい。(隼人地区、3年生)

◇色々な支援があるのならばどんな人が対象でどんなサービスがあるかを積極的に発信して欲しい。自分で探すことから始めていては辿り着く前に諦めてしまう。(隼人地区、4年生)

◇具体的な自分にあった情報が入ってこないの、園や学校で資料を配布して下さるといいなと思います。(牧園地区、5年生)

【病院、病児病後児、検診、健診について】

◇子どもが小さい頃は病児保育の預け先も少なくとても苦労しました。当日に困ることがほとんどなので、当日すぐ預けられる病児保育があるといいですね。(隼人地区、5年生)

◇子どもが夕方階段から転落し、救急車にお世話になったことがありましたが、霧島市に対応できる病院がなく、始良市の病院まで行きました。大したことがなかったので良かったのですが、万が一、夜交通事故とかにあったら、この地域に住んでいたら助かる命も助からないこともあるのかなと不安になりました。2025年問題もあり、いろいろと大変な世の中ですが、医療体制を充実してもらえたらありがたいです。(国分地区、5年生)

◇子どもを受診させるのが大変な時に、首都圏でよく利用されているファストドクター制度があればありがたい。(隼人地区、3年生)

◇学級閉鎖期間中、預け先があると助かります。霧島市の病児病後児保育をしている施設を詳しく(冊子か一覧があるといいな)知りたい。(国分地区、1年生)

◇子どもの医療体制を充実させてほしいです。夜間の救急も周囲では鹿児島市内の子ども救急センターまで連れて行った等の話が聞かれます。他の市町村で、子育てに特化した町づくりをされているTV等を見るとうらやましく思います。霧島市も、もっと子育てしやすい町になってほしいと期待しています。(国分地区、5年生)

◇地方に住んでいると、霧島市中心部より子育てに関しては置き去りにされているように思います。集まる人数が少ないからと健診や病児保育なども、40~50分車を走らせることになります。少数派は、切り捨てられますか?(横川地区、6年生)

◇病児保育を利用したことがあります。もう少し時間が長いと助かります。校区の見直しもあれば助かります。現在の居住地から指定校区へは遠く、近くには他校区外の中学校が2校もあります。ご検討くださいませ。子供が不安に思っています。(国分地区、4年生)

【学童、放課後児童について】

◇働くうえで大変なのは、小学校の時である。小学校の近くに良い学童がなく、他校区の学童に行かざるを得なかった。しかし他校の子が多いため行きたくないといわれ、フルタイムで働く限界を感じた。習い事ができる学童(例えばジェル)が増えればいいと感じる。(国分地区、5年生)

- ◇学童を増やすだけではなく、実際に利用できる学童を増やしてほしいです。今の霧島市は、保護者会や夜の集まりが多い学童が一般的だったり、親が出張の際に泊りがけで預けられる施設がなかったりするなど、「母親は仕事していても集まる時間くらいある」「母親は出張しない」という、男女共同参画に反する発想に基づいた子育て支援になっています。女性が安心してキャリアを積める社会をぜひ霧島市から実現してほしいです。(隼人地区、4年生)
- ◇今は保護者も元気ですが、今後のためにファミリーサポートセンター、トワイライト等の情報をもっと知りたいと思います。低学年までは喜んで学校に行っていましたが、高学年になると友達がいないう理由で、夏休みなど1日の利用が減ってきました。学童プラス地域活動など選べたりすると関わり方が増えるので子どもにもいいなあと思いました。(溝辺地区、4年生)
- ◇支援学級対応の子どもが多くなってきている割に、対応できる学童クラブが少ないと思います。長期休みの未対応の学童クラブが少ない。送迎問題で利用できない(どうしても仕事の都合で送迎できない)。(隼人地区、3年生)
- ◇習い事と学童が連結しているような施設があれば良い。(溝辺地区、4年生)

【仕組みづくりについて】

- ◇子供の方がネットなど覚えるのが早く、ネット(写真に害があるような所をブロックしていても…)に不安があるので、子供のスマホやネットの使い方を「学校だけでは…」と思ってしまう。(国分地区、4年生)
- ◇市街地に人が集まって、その他の地域は人がいなくなり過疎化が進んでいます。市営団地も家賃があがった事で引っ越す方が増えて空き部屋ばかりになり自治会や子ども会が運営出来ません。定住する時だけの補助じゃ誰も住まないし、住んでからの子育てや進学の為のサポートが必要だと思います。市街地ばかりではなく、他の地域にも同じような環境を作って欲しいです。同じ市民なので。(溝辺地区、6年生)
- ◇経済や地域によって、学習支援や経験に差が出ないようにしていただけると良いと思います。共働きで送迎に無理があると塾や習い事に行かせたくても行けない家庭や、経済的に色々な経験をさせれない家庭もあると思うので、行政の援助があると良いです。親が困り感があり学校やあゆみに相談しても、すっきりしていない方がいます。より身近にいつでも専門的に相談できる場所があると良いなと思います。(国分地区、5年生)
- ◇産休育休を取得後に、職場復帰を希望したら、雇用主より保育園に預けられるほどの時間は、産休代替で働いていた人も引き続き雇用するので、就労させられないと言われた。結果離職せざるをえなくなり、とても嫌な思いをした。産休、育休をとれば、元と同じ条件で復職させる義務が雇用主にはあるはずだが、そういった事ないがしろにされ、結果不利益をこうむるのは出産育児をする女性のみ。こういった事があるから、出生率ものびないのだと思います。雇用主には、そういった仕組みをしっかりと理解させてほしいし、罰則義務ももうけてほしい。結局、その雇用主は屋号をかえて、そしらぬ顔でいます。(隼人地区、2年生)

- ◇第1子の時、転職した際に社会保険を2週間、継続していなかったため、その後の妊娠で産休や育休を取る資格がないことを知り、やむを得ず退職しました。1年後くらいに再雇用してもらえたのですが、あのときは無知のために産休などが取れなかったのが残念でしたし、不安もありました。今は変わっているのかもしれないですが、女性にはその頃にいろいろと教えてほしいと思いました。(隼人地区、6年生)
- ◇発達支援センターあゆみの予約が2ヶ月待ちが当たり前の今の状況を何とかするべき。気軽に相談できないと感じており、例えばオンラインチャットやZOOM、LINE等を使用したシステムがあれば僅かでも緩和出来るのではないか。一刻も早く放課後等デイサービスを利用したいのに、具体的に病院のどこに相談すればいいのかもよく分からない。インターネットやHPでその入り口を説明してくれたら良いと思うが。最初の一步のハードルが高過ぎる。(国分地区、2年生)

【土日、長期休暇について】

- ◇キッズパークの開所時間を早めてほしい(一時預かり)。(クラブにもよりますが)児童クラブが祝日休みで困ります。夏休みがネックで児童クラブをやめられません。夏休みだけでも使える場所がほしいです。(隼人地区、3年生)
- ◇学童(平日、長期休み)で、とても助かっていますが、日曜日、祝日がお休みのため、とても職場に気がつかってしまいます。日曜、祝日は、まだ子どもが小さいので一緒に過ごしたいとも思いますが、出勤できる環境がないため、仕事も限られていると感じています。(国分地区、1年生)
- ◇土、日は仕事が休みのため、土曜に保育園に預けにくかった。親もたまには息抜きをしたかった。子供は子供同士で遊び、親は親同士で交流できる場があれば利用したかった。(土日)にあったのかもしれないが情報がなかった。(隼人地区、6年生)
- ◇土曜日保育園が18時までの利用時間となっているところが多い(土曜日は18時で終業できない勤務も職種もある、なぜ土曜日だけ預かり時間が短いかわからない)。女性の社会進出で子育てしながら仕事の両立は本当に大変で難しい。男性がもっと子育てに参加できるような知識を得られるような政策を考えてほしい。また、家事参加も含めた教育も行わなければならないと思う。鹿児島はやはり子育て(特に病気の時など)は、女性がすることだと考えられていることが多い。(地区不明、5年生)

【その他】

- ◇NPO等による学習支援(塾、習い事)。芸術、スポーツ鑑賞(教育の一環で、学校単位で触れる機会を増やしてほしい、昨日の国体応援のように)。(国分地区、6年生)
- ◇バスや電車の公共交通機関が充実していないので、充実させてほしい。親が車で送迎しないと行けないところが多い。習い事もその例である。送迎のために仕事もフルでは働けない。(国分地区、6年生)

- ◇まず就労が出来ないので産休や育休どころではない。根本的に間違ってる。全員が正社員で就労できているわけではないし、一人目の子供を産む時点で母親は産休や育休が取れず職を離れないといけないしそのまま永遠に正社員への復帰はまず出来ない。無理にも程がある。(国分地区)
- ◇子育ての設定を低学年にふりすぎている気がする。中・高生の方が心身ともに不安なことが多く悩みも単純でないものが多いと考える。自傷行為や自殺などが起きないような環境を設定して、支援することを忘れないでほしいと考えます。(隼人地区、6年生)
- ◇市報の生まれた子の名前を紹介するコーナー、最近子の数がすごく減ってきている気がする。あえて名前を出さない方も増えてくると思うが、子供を産みやすい環境づくりが早く必要だと思う。霧島市は育てやすい地域だと思うが、幼稚園や小学校のクラスの人数も減ってきている。経済的援助を拡大してもらえると移住者も増えるし、市内に住んでいる人たちの幸福感も上がると思う。(国分地区、4年生)
- ◇小規模校を統合し、浮いた資金を出産祝い金など子どもを産んでも生活しやすい支援をしてほしい。一人産んだらポイント100万円くれるとか。それぐらいしないと少子化問題の解決する糸口は見えてこないと思います。100万円夢があるでしょ。子どもを増やさないと税収も増えないですね。未来への投資をお願いします。(牧園地区、5年生)

